



10/24

関係人口獲得のため活動しました

かかしとハロウィンかぼちゃの展示（道の駅神林「穂波の里」）

神林地区関係人口創出事業実行委員会による関係人口創出事業「カボチャのお化け&気になるかかし祭り」を開催する予定でしたが、コロナ禍による参加者の安全を最優先に考え、かかしとハロウィンかぼちゃの展示のみを行いました。

地域の人が育ててくれたハロウィン用のカボチャをくりぬいたり、ハロウィンにちなんだ魔女などを含む3体のかかしを作成。また、神林学童保育所を利用している小学生がペイントしてくれたカボチャと一緒に道の駅神林「穂波の里」に展示し、来場者に楽しんでいただきました。



▲作成したかかしを囲み記念撮影

10/28

今年も大川に鮭が帰ってきた！

大川のコード漁（府屋地内）



▲^{かま}釣を構えて鮭を狙う

秋も本番を迎えた10月下旬、大川を遡上する鮭の姿がありました。毎年、山北地域の大川や勝木川には、晩秋から初冬にかけてたくさんの鮭が群れをなして帰ってきます。その中でも大川は、全国的にも類を見ない伝統漁法「コード漁」が行われています。

今年も10月初旬から大川にはたくさんの「コード」が設置され、鮭漁をする人たちで活気づいています。

最盛期は11月中旬から12月中旬で、大川河口付近では、近くで漁を見学することができます。運が良ければ、豪快に鮭を捕る様子が見られるかもしれません。

10/30

ごみ拾い美化活動で地域貢献

新潟リハビリテーション大学のクリーンアップ大作戦（岩船地区）

コロナ禍の中、市をはじめ地域の人から大きな支援を受けた学生による地域貢献活動のごみ拾いが、岩船漁協周辺をはじめ岩船地区で行われました。

例年は、岩船中学校体育祭や学校イベント、笹川流れトライアスロン大会のボランティア活動など、年間20ほどの地域イベントやボランティアなどの地域貢献活動の参加を単位化していましたが、今年度はこれまで、村上大祭の動画を視聴したレポートの報告のみ。密にならないで今できる活動を模索し、1年生42人がごみ拾いをするようになりました。

季節風で海から打ち上げられたごみの数々。トング片手に次々と袋に入れていました。



▲寒空の中で行われたごみ拾い活動

11/3

マスク用ミスト作り体験会や販売会も

荒川地区文化祭（荒川地区公民館）



▲好評だったハーブメイツあらかわブース

今年の荒川地区文化祭は、出展者および来場者ともに手指の消毒やマスク着用など、新型コロナウイルス感染症対策をしっかり講じながら楽しんでいました。

なかでも、ラベンダー栽培やハーブ関連グッズを制作している「ハーブメイツあらかわ」は、マスク生活を快適にすごしてほしいと開発したマスク用ハーブミスト作り体験や染物マスクケースの物販が大好評。

ハーブメイツあらかわの酒井さんは、「コロナ禍で地域の方々と触れ合う機会が減ったなかで、文化祭を通してコミュニケーションが取れた事はとても新鮮だった。つどい場「あらかわ」にも遊びに来てください」と話していました。

11/3 コロナ禍だからこそ地域に元気を！ 高根プチ駅伝（高根集落）



▲沿道の声援に応え、集落を周回する選手達

高根駅伝チームの自主イベントとして、高根プチ駅伝が地元集落で開催されました。

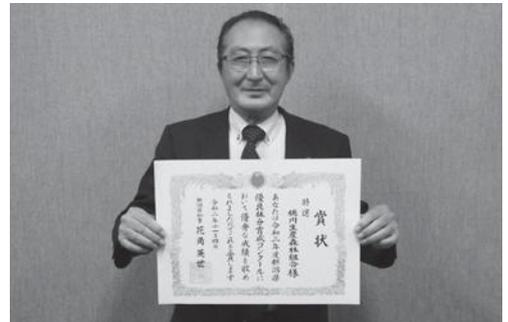
毎年参加している朝日駅伝大会が中止となった中、何か集落に元気を届けられる方法はないかと、模索した中でこの大会。普段は駅伝の応援場所が遠く、見に行けなかったという高齢の方は、「とても楽しかった。久々にたくさんの人の顔を見れた。」と喜んでいました。

コロナ禍でも、4連覇中のチームの応援とあって、集落内は大賑わい。通行警備のボランティア協力もあって、選手は嬉しそうに集落内を周回して、声援に応える姿が印象的でした。

11/4 長年の活動が評価され新潟県知事賞を受賞 第64回新潟県森林まつり祭典（弥彦神社）

第64回新潟県森林まつり祭典の優良林分育成コンクールにおいて、桃川生産森林組合が新潟県知事賞を受賞しました。受賞理由として、所有する森林の持続的な維持造成と木材生産を両立している点や、組合員が行っている作業道の整備や草刈りなど、日々の維持管理が評価されました。

代表理事組合長を務めている板垣栄一さんは「300ヘクタール弱の森林を所有し管理していますが、昔とは違い経営が順調に進む状況ではありません。しかし、制度を利用し有益な状況になることを期待し、多くの人に森林に興味を持ってもらうような活動を進めていきます」と話してくれました。



▲表彰を受け決意を新たに

11/6 民間の力を活用した移動支援実験 あさひ互近所ささえ～る隊（朝日地域）



▲車両に案内する送迎ボランティア

特別養護老人ホーム羽衣園であさひ互近所ささえ～る隊による移動支援の実証実験が行われました。

ご近所同士による支え合いの仕組みづくりを模索しながら活動しているこの団体。今回は実験的に社会福祉法人（羽衣園、さわらびセンター、デイサービス長津）の空いている車両を借り、朝日地域中心部への移動を送迎ボランティアがお手伝いするといったものでした。

利用者は、羽衣園で開催された健康講話や転倒予防教室に参加し、移動販売車でお買い物も楽しんでいました。

高齢化が進む中、日頃の生活の「ついで」にできる仕組みづくりにも今後期待されます。

11/11 鮭の日に道場開き 第32回越後村上三ノ丸流鮭塩引き道場開き（塩引き道場）



11月11日の「鮭の日」にあわせて、イヨボヤ会館裏手にある越後村上三ノ丸流鮭塩引き道場の道場開きが開催されました。今年も鮭に感謝を表す神事が執り行われた後、道場入口に道場看板が掲げられました。

塩引き道場では、道場師範の指導により村上传統の鮭料理「塩引き鮭」作りを体験することができ、11月20日(金)から12月5日(土)の日程で行われます。また、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、定員を6人に減らし募集したところ、全日程満員とのことでした。



▲道場入口に掲げられた道場看板